

令和4年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1. 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2. 対象者

市内在住の世帯

3. 調査方法

郵送、メール、ながの電子申請サービスにより調査票の送付や回収を行った。

4. 調査項目

- (1) エネルギー消費量（電気・LPガス・灯油・ガソリン・軽油の使用量）
- (2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5. 調査期間

令和4年1月1日～12月31日

6. 回答世帯数・世帯の概略

- (1) 世帯数：63世帯
- (2) 世帯の平均人数：3.0人（1人～7人）
- (3) 住居の種別：一戸建て 60世帯／アパート 3世帯
- (4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 2.3台／軽油車 0.3台

7. 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの1世帯あたりおよび1人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表1のとおりであった。

表1 エネルギー源ごとの1世帯あたりの温室効果ガス量の比較

エネルギー源	温室効果ガス排出量(単位：kg-CO2)					
	1世帯あたり(R3)	1世帯あたり(R4)	増減(R3→R4)	1人あたり(R3)	1人あたり(R4)	増減(R3→R4)
電気	2667.0	2746.1	2.97%	864.6	905.8	4.77%
LPガス	476.4	438.7	-7.90%	154.4	144.7	-6.29%
灯油	1569.5	1381.2	-12.00%	508.8	455.6	-10.46%
ガソリン	1919.6	2104.8	9.65%	622.3	694.2	11.56%
軽油	283.5	279.0	-1.59%	91.9	92.0	0.13%
合計	6916.0	6949.8	0.49%	2,242.0	2,292.3	2.25%

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表2のとおりである。過年度分集計結果との比較のため、平成25年度より変更していない。

表2 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516 [※]	ガソリン	2.3
LPガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5		

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、LPガス、灯油の合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、4.57t-CO₂であった。実行計画に掲載されている平成20年度（2008年度）の排出量推計結果（3.12t-CO₂/世帯）と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.5倍に増加している。

表3 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較 増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計 (H20年度)	前回 (R3年)	今回 (R4年)	増減率 (H20→R4)
3.12	4.71	4.57	46.5%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下のとおりであった。

- ・照明器具をLEDに変えた。
- ・テレビなどの待機電力をできるだけゼロにした。
- ・電灯の明るさ調整（読書、筆記作業部屋、時間以外はスモール設定 or 消灯）をした。
- ・炊飯器のタイマー機能と保温機能をできるだけ使わないようにした。
- ・トイレ便座の電源を抜き、シートにした。
- ・昼間の電気使用を減らし、夜間（PM11:00-AM7:00）の洗濯や充電などを心掛けた。
- ・カテエネで消費状況を確認する。
- ・中部電力 NACHARGE（ネイチャージ）^{*}に参加し、メールが届いたら積極的に節電に寄与する。
（※ネイチャージ：再生可能エネルギーの発電状況や電気の需給状況に応じて、「節電」や「使用時間の変更」などをおこなうと、取り組み結果に応じてカテエネポイントが進呈されるサービス。）
- ・家族がなるべく一室で過ごすようにした。
- ・夏はエアコンと扇風機の併用。
- ・夏場はエアコンをできるだけ使用せず自然風を利用する。
- ・冬場はエアコンをあまり使用せず、灯油ストーブを活用。
- ・エアコンの活用時間（温度）設定し、常温稼働調整。
- ・家着の調整により冷暖房コストを低減させる。
- ・太陽熱温水器。薪風呂。電気こたつに灯油ストーブの温風を蛇腹ホースで引き込む。
- ・ストーブの上でお湯が沸き、あたたまったら湯たんぽに入れて、コタツの中に。その湯たんぽを寝るとき布団に入れる。
- ・給湯ボイラーをエコタイプに変えた。
- ・エコキュートの設定湯量を利用して調整。風呂の水量の調整など。
- ・ガスの設定温度を低めにする。
- ・今まで使用してきた循環式風呂をやめたところ電気の省エネとなった。
- ・煮物、ごはんをレンジでチンする時、今までのシリコン使用をやめ、マーガリン容器に変えた。早く温まる。
- ・パスタ乾麺はあらかじめ水に浸してから茹でる。時短になる。
- ・ガスの炎を鍋底より大きくしない。圧力鍋に変更した。
- ・浄化槽を廃止し、24時間使用していたモニターも廃止した。
- ・水道凍結防止帯は、就寝前スイッチを入れ、朝は抜く。-4℃が目安でそれ以上はOFF状態に。
- ・水道凍結防止帯を新しくした。
- ・夏場は早朝の冷気を屋内（室内）に取り込み（窓の開閉）、カーテンのすだれ等日よけに心掛けた。
- ・冬は日差しのある時はカーテン全開で部屋に少しでもポカポカを取り入れた。
- ・太陽熱を逃がさないよう早めにカーテンを閉める。
- ・玄関ドアにカーテンを吊るす。
- ・台所にビニール製カーペットをひく。
- ・歩き、自転車を心掛け、買い物はまとめて。